

アミメカワヨウジの北限の産地である高知市からの2個体目の標本 (トゲウオ目ヨウジウオ科)

石川晃寛・伊藤露子・阿部芳勝・町田吉彦

Second specimen of a pipefish *Hippichthys* (*Hippichthys*) *heptagonus* Bleeker, 1849
from Kochi City, the northernmost locality (Gasterosteiformes: Syngnathidae)

ISHIKAWA Akihiro, ITO Fukiko, ABE Yoshikatsu and MACHIDA Yoshihiko

Abstract A single specimen of a pipefish *Hippichthys* (*Hippichthys*) *heptagonus* Bleeker, 1849 was collected from tidal zone of the Shinkawa River in Kochi City. This specimen represents the second record of *H. (H.) heptagonus* from Kochi City, the northernmost locality for this species.

Key words: pipefish, *Hippichthys* (*Hippichthys*) *heptagonus*, tidal zone, distribution, Kochi City, Kochi Prefecture.

アミメカワヨウジ *Hippichthys* (*Hippichthys*) *heptagonus* Bleeker, 1849は、インド・西太平洋の熱帯から温帯にかけての汽水域から淡水域に広く分布するトゲウオ目ヨウジウオ科の魚類である。国内では、米沢(2003)が奄美大島から報告しており、また、瀬能(2005)は本種は八重山諸島以南に分布するとしていた。その後、長野ほか(2006)が高知市中央部を流れ、浦戸湾に流入する新堀川で2005年に1個体を採集し、北限記録として報告した。なお、本種は2007年8月3日に環境省が公表した汽水・淡水産魚類レッドリストの絶滅危惧IB類に追加された(<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=8648>)。

著者らが継続して実施している高知県内の汽水域の魚類調査で、2007年に高知市新川川で1個体のアミメカワヨウジが採集された。本個体は本種の北限の産地である高知市における2番目の標本となることから、以下に報告する。

標本は高知市春野町新川川の感潮域で、人力に

よる小型曳き網(袖網2.3m, 袋網2.3m, 高さ0.75m, 目合い5mm)で得られた(Fig. 1)。標本は10%ホルマリンで固定後、70%エチルアルコールで保存した。計測にはノギスを用い、計数ならびに計測方法はNakabo(2002)に従った。本文では標準体長をSLと略記する。なお、標本

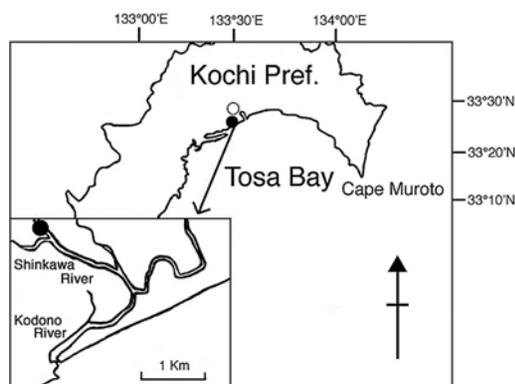


Fig.1. Localities of *Hippichthys* (*Hippichthys*) *heptagonus* in Kochi City. ●: previous record; ○: present record.

は高知大学理学部海洋生物学研究室 (BSKU) に登録し、保管してある。

Hippichthys (Hippichthys) heptagonus Bleeker, 1849
アミメカワヨウジ
(Fig. 2 ; Table 1)

調査標本：BSKU 91521, 93.5mm SL, ♂, 高知市春野町新川川干潮域, 2007年9月28日。

記載：計測値を Table 1 に示す。体は細長い。軀幹部はやや縦扁し、断面は九角形。尾部の断面は四角形。軀幹部の中央隆起線の後部は腹側に下降する。軀幹部と尾部の上隆起線は不連続。軀幹部と尾部の下降起線は連続する。背鰭起部は第1尾輪上に位置する。

吻端から眼に向かう1黒色帯がある。眼の後縁



Fig. 2. *Hippichthys (Hippichthys) heptagonus*, BSKU 91521, 93.5mm SL, from the Shinkawa River in Kochi City.

Table 1. Counts and measurements of *Hippichthys (Hippichthys) heptagonus* from Kochi City

Catalog number	BUKU 91521	BSKU 76155
Measurements		
Total length (mm)	96.5	97.5
Standard length (mm)	93.5	93.7
In % of standard length		
Body depth	4.4	4.5
Head length	9.7	10.2
Snout length	4.3	4.1
Preal length	33.8	33.9
In % of head length		
Snout length	39.0	39.6
Orbit diameter	16.5	15.6
Counts		
Dorsal fin rays	24	25
Anal fin rays	2	2
Pectoral fin rays	16	16
Caudal fin rays	10	10
Rings	15+40=55	15+42=57

下方から下降する1黒色帯と、後縁上方から後方に走る1黒色帯がある。体輪に白色斑が散在する。喉部はオレンジ色で、腹部は濃赤色。

備考：本標本は、Dawson (1985) と Senou (2002) による *H. (H.) heptagonus* の記載および長野ほか (2006) の標本とよく一致した。長野ほか (2006) の計測値では SL が 73.7mm とされていたが、BSKU 76155 を再検討した結果、93.7mm の誤植と考えられたため、改めて計数ならびに計測値を Table 1 に示す。

瀬能 (2005) によれば、本種は河川の汽水域から感潮域上端の淡水域に生息し、枯れ枝や水生植物が繁茂する流れの緩やかな環境を好む。長野ほか (2006) は浦戸湾に流入する新堀川のコアマモ群落で本種の標本を得た。本標本が得られた場所は河口から 3.4km 上流にある新川川橋の右岸のわずかに上流で、セキシウモが繁茂し、採集時の水深は約 50cm、塩分濃度は 1.3 であった。

このように、本報告は本種の北限の産地である高知市からの 2 例目の記録となり、高知県における本種の出現が無効分散ではない可能性が示唆される。今後のさらなる調査により、高知県下における本種の分布状況を確認する必要がある。

引用文献

- Dawson, C. E. 1985. Indo-Pacific pipefishes (Red Sea to the Americas). 230pp. The Gulf Coast Research Laboratory, Ocean Springs.
- 長野博光・阪本匡祥・中尾光利・町田吉彦 2006. 高知県初記録種を含む高知市新堀川の魚類。四国自然史科学研究, (3): 50-56.
- Nakabo, T. 2002. Introduction to ichthyology. In (Nakabo, T., ed.) Fishes of Japan with pictorial keys to the species, 2nd edition. pp. xxi-xlii. Tokai University Press, Tokyo.
- Senou, H. 2002. Syngnathidae. In (Nakabo, T., ed.) Fishes of Japan with pictorial keys to the species, 2nd edition. pp. 520-536, 1506-1510. Tokai University Press, Tokyo.
- 瀬能 宏 2005. アミメカワヨウジ (川那部浩哉・水野信彦・細谷和海, 編: 山溪カラー名鑑 日本の淡水魚) p.452. 山と溪谷社, 東京.
- 米沢俊彦. 2003. 分布特性上重要。(財団法人鹿児島県環境技術協会, 編: 鹿児島県の絶滅の

おそれのある野生動植物 動物編，鹿児島県
レッドデータブック). 財団法人鹿児島県環

境技術協会，鹿児島市．
(原稿受理 2009年8月31日)